

最先端・次世代研究開発支援プログラムに本学研究者が採択されました

平成23年2月10日に「最先端・次世代研究開発支援プログラム」採択の研究者・研究課題が決定され、本学からは森田美代准教授（バイオサイエンス研究科）、宗景ゆり助教（バイオサイエンス研究科）、柴博史助教（バイオサイエンス研究科）が選ばれました。2名以上の女性研究者が採択された研究機関はほとんどなく、奈良先端大の研究レベルの高さを示しました。

受験生のためのオープンキャンパス2011に参加しました。

平成23年3月12日（土）奈良先端大 受験生のためのオープンキャンパス2011にて、女性学生向けセミナー「来たれ未来の女性研究者～企業・大学で活躍する方法教えます～」を開催しました。



セミナーでは、学生生活を送る上でのアドバイスや卒業後にどんな道があるか、企業や大学で研究者になるまで、など講演いただきました。参加いただいた13名の大学生の方々等からは、「すごく参考になった」「新しい道を考えることができた」といったご感想をいただくことができました。

今回はオープンキャンパスということで受験生を主な対象としていましたが、次回は現役大学院生の方々をもっと参加できるようなイベントを企画したいと思いますので、是非参加して下さい！

また、別に広報ブースも設置していましたが、こちらにも何名もの方々に来訪していただきました。託児室の方も5名の方にご利用頂きました。ありがとうございました。

参画室の役割と活動

男女共同参画室の事業紹介

男女共同参画室では、下記のような事業を実施し、女性研究者のための支援を行っています。一時託児室の設置やワークライフバランス相談窓口など、生活と研究の両立のお役に立てるよう、今後とも努めたいと思います。

参画室の活動について、ご意見・ご質問等ございましたら、お気軽にお問合わせください。

◎制度・支援

- 女性研究者採用登用システムと採用促進・・・女性教員の採用比率を11.8%にするため、採用された女性教員にスタートアップ研究費を支給しています。
- 遠隔実験支援システム・・・講義室へポリコムを常設。また、在宅勤務の有効性を検証しています。
- 在宅勤務制度と任期更新・再任制度の改革・・・在宅勤務制度及び出産/育児期の任期更新・再任制度について、平成22年度12月改訂しました。
- アカデミックアシスタントの配置・・・小さな子供を持つ女性研究者のワーク・ライフ・バランスを守るため、研究技術員の配置を行います。
- 女性研究者成果の生産性向上・・・成果の生産性30%向上を目指します。
- プラスα保育/オンデマンド学内保育・・・教職員/留学生/女子大学院生への利用者拡大を検討しています。

- イベント一時託児・・・全学イベント(3回)や各研究科のイベント等に対応しています。

- 子連れ出張制度・・・子供を連れた出張を可能にするため、効果的な制度設計・ルール(基準)を検討しています。

◎啓発・広報

- シンポジウム/セミナー開催・・・啓発のため、男女共同参画/ワーク・ライフ・バランスに関するシンポジウムを開催（年1回以上）します。
- ホームページ(HP)の更新・・・女性研究者支援情報を随時更新します。
- ワーク・ライフ・バランス相談窓口の開設とメンター制度・・・ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供とメンター制度を実施しています。
- けいはんな女性研究者ネットワーク構築・・・女性研究者支援イベントの企画立案・交流推進を行っています。
- 各種出版物発行・・・男女共同参画室の活動、ワークライフバランスの良い研究環境実現に向けた定期的活動報告/ News Letter（本紙）を発行しています。



問合わせ先：男女共同参画室
TEL：0743-72-5137/5138
E-MAIL：sankaku-jim@sd.naist.jp

第2回 テーマ「仕事の効率化」③

物質創成科学研究科 バイオメディック科学・菊池 純一教授

「仕事の効率化」

教育者・研究者にとっての仕事の効率化 一情熱と時間のはざままで思うこと

先日、企業で働いているある友人から聞いた。社内での昇進試験において、「仕事の効率化」というお題は小論文のテーマでよく登場するようだ。どのような工夫をすれば仕事の効率がアップするかを論理的に述べることを出題者は期待しているのだろうか。以下に私の意見を述べるが、結論は、「教育者・研究者たる者、仕事の効率化など考えるべきではない」である。

私の本務は教育と研究であると認識している。それに加えて様々な事務処理の仕事、いわゆる雑用を要求される。雑用といえども、もちろん、重要な仕事もある。しかし、形式にとらわれてだれかを満足させるための無駄な仕事もかなりある。仕事の効率化には、まず、部下に無駄な仕事を与えない上司の資質が問われることになる。仕事の内容によっては、効率化を工夫することは重要である。しかし、学生の教育に関して言えば、時間をかければかけるほど教育効果は上がる。もちろん、当事者に教育に対する情熱があるのは当然のこととして。研究においても然りである。

サラリーマン的精神で研究をしている研究者は世の中に多いが、所詮、二番煎じの研究しかできない。

何年か前、あるベンチャー企業をオリジナルな製品開発で世界が一目置く中堅企業に育て上げた立役者の一人である技術者の仕事を間近で拝見するチャンスを得た。私よりもかなり年上のこの方は、当時は第一線を退いておられたが、仕事の話をするときの目の輝きは少年のようだった。独創的な発想で新しい測定装置の開発研究に取り組み、オペレーションプログラムの開発から装置の設計そして組み立てまでを一人でこなし、測定感度向上のために来る日も来る日も光学レンズを磨きつけておられた。技術者としての妥協を許さない強い意志が伝わってきた。このような人達が現在の技術立国日本を創ってきたのであろう。私は、この方から研究者・技術者とはどうあるべきかを改めて学んだ。「先生、仕事の効率化なんて考えたらあきまへんで」という声が聞こえてくるような気がする。

活動報告

2011年

- 3月 ・一時託児室の愛称決定
- ・オープンキャンパス2011にて男女共同参画室主催の女性学生向けセミナーを開催、参画室ブースを設置、一時託児を開催
- ・第6回在宅勤務検証の実施

今後の活動予定

5月・オープンキャンパスに広報ブースと一時託児の実施

お知らせ

けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、ワークライフバランスの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法:ご氏名・所属・メーリングリスト用メールアドレスをご記入の上、メールにてお申し込み下さい。
E-mail: sankaku-jimu@ad.naist.jp

※詳しくは参画室HPをご覧ください。(URL: http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html)

ワークライフバランス相談窓口

福祉や育児に関する行政サービスの情報提供や研究と生活の両立についての悩みなど、ワークライフバランスに関わる相談を受け付けておりますので、お気軽にお越しください。

場 所: 学際融合領域研究棟2号館3階 男女共同参画室内
受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
受付時間: 月曜日～金曜日 10:30～12:00/ 13:00～17:00
T E L: 0743-72-5138
E-mail: wlb-soudan@ad.naist.jp

一時託児室「託児室せんたん」の内覧会を開催します

改修工事も2月に無事に終了し、一時託児室「託児室せんたん」開室に向けての準備も着々と進んでいます。4月以降に託児室として利用可能となる予定ですが、プレオープンとして、関係者の方々に託児室内の様子を見ていただこうと、内覧会を予定しています。内覧会参加ご希望の方は男女共同参画室までご連絡ください。

【日時】4月21日(木) 13時～13時30分

男女共同参画室
TEL: 0743-72-5137/5138
E-mail: sankaku-jimu@ad.naist.jp

